

2023.5.31

山口県子ども読書支援センター（山口県立山口図書館）発行  
TEL083-924-2113 FAX083-932-2817 <http://library.pref.yamaguchi.lg.jp>

## ★メールマガジン「本はともだち～山口県子ども読書支援センターニュース」配信中！

メールマガジン「本はともだち」は、新刊紹介や県内の行事など、より充実した内容で配信中です。読者登録の方法は県立図書館のホームページをご覧ください。

## 【山口県子ども読書支援センター行事】

## ★「幼児のためのおはなし会」（毎月第一火曜日 6月は第二火曜日）

○日時：6月13日（火）11：00～11：20 ○会場：山口県立山口図書館 第2研修室 ○対象：幼児 ○定員：10組程度  
《5月のおはなし会で使った本》

『おでかけばいばい』 はせがわせつこ/ぶん 福音館書店 2006.10

『べろべろばあ』 新井洋行/作・絵 KADOKAWA 2019.11

『だれのあし?』 ひさかたチャイルド 2019.7

『どうぶつしんちょうそくてい』 聞かせ屋。けいたろう/文 アリス館 2016.11

## ★第1回子どもと本をつなぐスキルアップ講座（定員に達したため締め切りました。）

○日時：令和5年6月10日（土）13：30～15：30

○会場：山口県立山口図書館 第2研修室

○講師：山本 安彦氏（山陽小野田市立中央図書館長）

○内容：【講義】「読み聞かせ講座 基本の“き”」

○対象：県内の子ども読書ボランティア、公共図書館職員、司書教諭、学校司書、保育士、幼稚園教諭、保育教諭等

## ★幼稚園・保育園のための子ども読書研修会

○日時：令和5年6月24日（土）13：30～15：30

○会場：山口県立山口図書館 第2研修室

○講師：寺井 千香氏（梅光学院大学 子ども学部 子ども未来学科 教授）

○内容：【講義】「保育に絵本を～子どもの心を育む絵本体験～」

○対象：保育士、幼稚園教諭、保育教諭等 子どもの本に関心のある方

○定員：会場30名（要申込み、先着順）

○申込方法：別紙参加申込書によりFAX、電子メール、又は持参での申込（HP上の参加申込書をダウンロードしてご利用ください。）

○申込締切：令和5年6月15日（水）17時（定員になり次第、締め切り）

◎申込み・連絡先：山口県子ども読書支援センター（電話：083-924-2113 FAX：083-932-2817 Eメール：a50401@pref.yamaguchi.lg.jp）

## 【新刊紹介】価格は消費税抜き

## &lt;絵本—乳幼児から&gt;

『そらまめくんのいっしょにあそぼ』 なかやみわ/さく 小学館 2023.3 ¥850

ひとりでなわとびあそびをしていた、そらまめくん。さやえんどうさんがやってきて、「いーれーて!」。 「いーいーよ いっしょにあそぼ!」となかよくなわとびあそび。そこにおともだちが次々とあらわれて、「いーれーて!」「いーいーよ!」。なかまがどんどんいっしょに。さあ、どうやって遊びましょう?仲良く遊ぶと楽しいことが伝わる赤ちゃん絵本。

## &lt;絵本—3, 4歳から&gt;

『1・2・3・4・5・6・7・8・9・10』 谷口智則/作・絵 金の星社 2023.2 ¥1400

ねずみさんがいちごを1こ、うさぎさんがにんじんを2ほん、ねこさんがみかんを3つ…。いろんなどうぶつたちがぐだものややさいを持って、つぎつぎにやってきたよ。持ってきた材料を大きなミキサーに入れると…。音の響きを楽しみながら、1から10までの数字に親しめる絵本。裏表紙の見返しには子どもが使う機会の多い5種類の助数詞とよみかたを掲載。

## &lt;絵本—5, 6歳から&gt;

『やぎのタミエはおかあさん』 すけのあずさ/作 BL出版 2023.3 ¥1500

わたしのいえのやぎのなまえはタミエ。タミエはわたしよりずっとおおきくて、ちからもつよい。あしもはやくておねえちゃんもおいつけない。でも、ちかごろ、タミエはちよつとへん。おとうさんは「タミエのおなかには、あかちゃんがいるんだよ。」って。ふきのとうがかおをだすころ、まだうすぐらいあさ、タミエのなきごえがやまにひびいて…。いのちの尊さが伝わる絵本。

## &lt;絵本—小学校低学年から&gt;

『こしたんたん』 りとうようい/作 絵本館 2023.3 ¥1400

虎視眈々とは、虎が獲物をじっと狙う様子を表す言葉。トラは、草むらに息をひそめて、ウサギやシカ、イノシシ、ウシの様子をうかがっている。獲物を前に心がうきうき、欲もどんで来て…。リズムカルな言葉で、トラの様子が綴られる。じっとしていることに我慢ができなくなるとどう…。場面ごとに変化するトラたちの表情も楽しめる。よみかたにおすすめの一冊。

## &lt;絵本—小学校中学年から&gt;

『こえていける』 パット・ズィトゥロウ・ミラー/ぶん ジェン・ヒル/え ドリアン助川/やく green seed books 2023.4 ¥1700

体育の授業でボルダリングの壁を登らなければならなくなったわたし。無理だと感じた時「どうしたら今の自分を超越していけるのだろう」と考え…。 「むねをはってどうどうとやる」「こえをあげること」「あきらめなければいける」など家族からもらった助言を少しずつ実行していく。『こえていける』ヒントがたくさん詰まった勇気を与えてくれる物語。原タイトルは『Be strong』

<読み物一小学校低学年から>

『かえでちゃんとひみつのノート』 大久保雨咲/作 植田真/絵 小峰書店 2023.2 ¥1200

かえでちゃんがノートにかいたクマみたいなのもじゃりん。転校し新しい学校になじめないかえでちゃんの日常をノートの中から見守っている。ある日ある女の子にもじゃりんのことを知られてしまい泣いてしまうかえでちゃん。でもその夜、もじゃりんのところにやってきたかえでちゃんに、もじゃりんはあのことを言おうとするが…。伝えることの大切さを教えてくれる心温まる物語。

<読み物一小学校中学年から>

『じごく小学校』 有田奈央/作 安楽雅志/絵 ポプラ社 2023.3 ¥1400

いたずらと工作が大好きな小学4年生の板図良強(いたずらつよし)。ある日家のポストに「じごく小学校」のチラシが入っていた。見学にいった「じごく小学校」では、いたずらしたりふざけたりする子が成績優秀となるらしい。強が氷をかけられている犬を助けると周りの視線が…。善悪の判断について考える物語。物語を読み進める中で、絵探しやクイズ、迷路なども楽しめる。

<読み物一小学校高学年から>

『沙羅の風』 松弥龍/作 三上唯/絵 国土社 2023.4 ¥1400

11歳の沙羅は母のことを怜子さんと呼ぶ。幼い頃突然父を亡くすが、母と二人過ごしてきた。春休み、沙羅は怜子さんのふるさと鳥取に旅行へ。祖父母の墓参りでいつもより口数が少なくなる怜子さん。沙羅は隠しごとをされていることに寂しさや悔しさを感じる。やがて知らされる母の悲しい過去、父との別れのトラウマや将来への不安に向き合い受け入れながら成長する少女の物語。

『ページズ書店の仲間たち』 アナ・ジェームス/作 池本尚美/訳 淵/絵 文響社 2023.3 ¥1680

祖父母が営む「ページズ書店」で暮らす11歳の少女ティリー。ある日お気に入りの場所で出会ったのは大好きな物語に出てくる少女「アン」。ティリーは自分が本の中を旅することができる「本の旅人(ブックワンダラー)」であると気づく。親友と数々の名作文学の登場人物と一緒に冒険に挑むこととなり…。やがて知る家族の秘密。多くの名作にふれるきっかけともなる壮大な物語。

<読み物一中学生から>

『愛蔵版<古典部>シリーズ1』 米澤穂信/著 KADOKAWA 2023.3 ¥4500

神山高校に入学した折木奉太郎は、OGである姉の言いつけに従い、廃部寸前の古典部に入部。部員はいないはずだったが、隣のクラスの千反田える、旧友の福部里志も入部し、手探りで古典部として活動を始めることに。直木賞作家となった著者のデビュー20周年を記念し、原点ともいえる<古典部>シリーズをまとめた愛蔵版。1には、「氷菓」「愚者のエンドロール」他を収録。

『ロボット・イン・ザ・ホスピタル』 デボラ・インストール/著 松原葉子/訳 小学館 2022.7 ¥990

ロボットのタンクが親友であるベンの家族と過ごし始めて数年が経過。世界中を襲ったパンデミックは終息したが、彼らに平穏な日常が訪れるはずもなく…。タンクはもちろんのこと、どの登場人物の言動も目が離せない。発表当時お近未来のイギリスが舞台で、AI搭載ロボットとの共生をテーマに現代社会を先取りしていた『ロボット・イン・ザ・ガーデン』シリーズの第5弾。

<ノンフィクション一小学校低学年から>

『あさがおとはるくん』 キッチンミノル/さく PHP 研究所 2023.4 ¥1400

5月の日曜日、はるくんは近所のお姉さんからあさがおの種をもらう。まいた種はやがて芽を出し、葉が増え、蔓が伸び、花を咲かせる。そして、また種となる。はるくんがあさがおを育てる過程を、迫力あるあさがおの様子やはるくんの表情豊かな写真で紹介する。育てる中でのコツやあさがおの特徴について分かりやすい専門家のワンポイントアドバイスあり。作者は、写真家。

<ノンフィクション一小学校中学年から>

『最悪な未来』 林杜一/監修 文研出版 2023.2 ¥3600

「最悪な未来」を想像し、それに備えるための行動について「宇宙」「自然災害・環境問題」「病気・医療」「社会・テクノロジー」「人口・食料問題」「犯罪」「戦争」のテーマで解説。想定される最悪の事象の理由や、それらを回避するために自分たちができる行動について写真やイラストを用いて説明。監修者は、理科(物理)の教員経験がある物理教育の専門家。巻末に索引あり。

<ノンフィクション一小学校高学年から>

『なんで、せんそうおわらないの?』 NHK ネットワーク報道部/編 青志社 2023.3 ¥1300

ウクライナの戦争が始まってから、日本の4~6年の小学生約1000人が疑問に思っていることにNHKの解説委員が答える。「どうして戦争しているの?」「この戦争はいつ終わるの?」などの質問に、解説委員が分かりやすく、写真や地図、統計を用いながら答える。パート1は2022年6月、パート2は2023年1月時点の情報で編集。NHK『News Up』掲載記事を再編集。

<ノンフィクション一中学生から>

『絵巻万葉ものがたり 万葉歌の意訳・英訳つき』 阿見みどり/画・文・書・意訳 銀の鈴社 2022.11 ¥2800

「万葉集」から100首を厳選し、絵巻に仕立てた作品に、英文の解説を加えたバイリンガル絵本。正倉院図録等の研究書の写真をもとに描いた水彩画に、和歌の原文と現代語訳・英訳を掲載。万葉学者山口正氏を父にもつ著者は、自身も大学で万葉集を研究した日本画家。万葉学者村瀬憲夫博士による監修。底本は『日本古典文学大系』(岩波書店)、歌番号は『国歌大観』による。

<研究書>

『保育で使える手あそび歌 春夏編 かんたんピアノでもっと楽しく!』 阿部直美/著 ホッタガクフ 2023.4 ¥1800

保育で使える手あそび歌のピアノ伴奏譜、遊び方(振付)を収録。譜面にはドレミふりがなと弾きはじめの鍵盤図を掲載し、ピアノが苦手な保育者にも使いやすい構成となっている。全曲、ピアノ演奏が視聴できるQRコード付き。本書では、いつでもできる手あそび15曲と春夏あそび歌23曲の全38曲を収録。巻末に楽譜の基礎知識、収録曲の索引あり。『秋冬編』も同時刊行。

『ちきゅうパスポート えほん作家から地球の子どもたちへ』 広松由希子/編集 BL 出版 2023.3 ¥1800

「はじまりの国」「国境のない国」など、あべ弘士をはじめとする24人のえほん作家が描いた想像の国々。各国のえほん作家たちが、地球上のすべての子どもたちがどんな状況に置かれても希望をもちつづけられるように、との願いを込めた『地球パスポート』。心をつなげるというテーマにちなみ、ジャバラに製本。本書の収益の一部は、ウクライナの子どもへの支援へ寄付される。

※【新刊紹介】の本は、県立図書館で現在受入準備中の本です。そのため、県立図書館の蔵書検索(OPAC)では検索できませんが、利用することは可能です。収書のための選書の参考として、閲覧、貸出等を希望される方は、お問い合わせください。

山口県立山口図書館では、電子図書館サービスを提供しています。利用案内はこちらから→

<http://library.pref.yamaguchi.lg.jp/dlibrary>

